

第1節 近代への胎動

4

揺らぐ幕藩体制



- (1) 1833年頃より全国的に天候異常による凶作が続き、多数の餓死者と病死者を出したこと。
- (2) 1827年にかつての大坂町奉行の役人であった大塩平八郎が、幕府の政治を批判し、貧民の救済のために弟子や農民に呼びかけて、武装蜂起したこと。
- (3) 国内の心配ごとと、外国から攻撃を受ける心配があること。
- (4) 老中の水野忠邦が1841年に幕府の立て直しに着手したこと。
- (5) 江戸・大坂周辺を直轄地にしようとする命令。
- (6) 西日本のいくつかの有力な藩。
- (7) 紙や蠟などの産物を統制した藩。
- (8) 陶磁器などの専売を行なった藩。

天保の飢饉

大塩の乱

内憂外患

天保の改革

上知令

西南雄藩

長州藩

肥前藩